

※ 緑文字は職員へのアンケートを実施して成果を検証するものです。同様に、青文字は児童生徒へのアンケートで、赤文字は保護者へのアンケートで成果を検証します。

平成28年度 西都市立三納小中学校自己評価書

【評価基準】 4～期待以上 3～ほぼ期待どおり 2～やや期待を下回る 1～不十分

領域	評価項目	区分	評価指標または数値目標	結果	学校の自己評価と改善策	自己評価		学校評価委員のコメント	評価
						指標別	総合		
II	① 基本とする生活指導の徹底	共	<p>a あいさつは、「いつでも・どこでも・誰にでも・心を込めて」を意識させ、あいさつができる児童生徒を90%以上にする。</p> <p>b 児童会や生徒会による自主的なあいさつ運動を推進する。</p> <p>c 家庭で、「おはよう」「おやすみなさい」などのあいさつを励行する。</p> <p>d 名前を呼ばれたり、同意を求められたりした際の返事は「はいっ」と相手に伝わるようにしっかりさせる。</p> <p>e 整理整頓に努めさせる。</p> <p>f 清掃班長を中心に主体的な清掃態度を育成する。</p>	<p>a 中学生は90%以上で目標を達成しているが、小学生は80%以上になっており目標は達成できていない。小学生からの中学校職員へのあいさつがなかなかできていない。帰りのあいさつは元気がよいが、朝のあいさつは元気のよいあいさつはできていない。</p> <p>b 小中別々の活動だった。募金等と合わせて行った。</p> <p>c 80%以上の家庭で実践できている。</p> <p>d 小中学校合わせて、78%の実施しかできておらず、あまりできていない。</p> <p>e 個人差がある。</p> <p>f おおむね良い。</p>	<p>a 小学生に対しては、中学校職員からあいさつをするようにする。</p> <p>b 小中それぞれで、あいさつ運動等行った。今後も継続して行う。</p> <p>c 学級通信や学級懇談で啓発する。</p> <p>d 各場面（授業や集会）でやり直しをさせ、定着を図る。</p> <p>e 全職員が、その都度指導する。</p> <p>f 継続して取り組む。</p>	2.74	2.74	<p>○ 登校中のあいさつは、登校班長や高学年が進んでできる班はしっかりとできている。地域でのあいさつについては、個人差が大きい。校内で地域の方と廊下等ですれ違う際には、会釈ができない子どもがみられる。</p> <p>【学校からの回答】</p> <p>○ 西都市の全ての学校で当たり前のこと3か条（あいさつ・返事・整理整頓）に取り組んでいるが、本校の児童生徒はあいさつができていない。学校だけでなく、地域でも気持ちのよいあいさつが進んでできるように、家庭と連携を図りながら指導していく。</p>	2
		共	<p>a 人権学習をテーマとした授業を実践する。</p> <p>b 生徒指導の三機能を活かした授業を実践し、児童生徒の自己肯定感を高める。</p> <p>c いじめや悩みのアンケート及び教育相談を実施し、全職員で共通理解し、対応する。</p> <p>d 日常生活における道徳教育を充実させる。</p> <p>e 信頼関係を基盤とした学級経営を充実させる。</p> <p>f 他者を思いやる心のもった言葉遣いをさせる。</p> <p>g 学級園の草花を育てることを通して、優しさや思いやる心、命あるものを大切にすることを育てる。</p> <p>h 保護者や地域への特別支援教育の啓発を図る。</p>	<p>a 実施することができた。</p> <p>b 児童生徒とも90%以上で目標を達成。自己肯定感が高いと考えられる。</p> <p>c アンケート並びにQUを実施した。</p> <p>d 全職員共通理解し努力した。</p> <p>e 各学級担任が全力で取り組んでいる。</p> <p>f 70%以上でだいたいできているが、小学生が昨年より下回っている。</p> <p>g 協力して草抜きや苗植えに取り組んだ。</p> <p>h 講演会を計画したが、保護者の参加人数が少なかった。</p>	<p>a 継続して取り組む。</p> <p>bf 昨年までの取り組みを継続する。小中学校ともQUを実施し、教育相談に活用した。</p> <p>c QUの結果を教育相談に生かし、常時指導に生かす。</p> <p>df くん、さん付けなどに心がける。</p> <p>e 学級担任まかせにせず、みんなで協力していく。</p> <p>g 継続して取り組む。</p> <p>h 講演会の参加人数が増えるよう、時間帯・期日・参加の呼びかけの範囲等、計画を見直していきたい。通信等、機会をとらえ啓発する。</p>	2.94	2.94	<p>○ 本校にはいじめはあるのか。また、いじめが発生した場合、どのようにして解決しているのか。</p> <p>【学校からの回答】</p> <p>○ 11月に県が行ったアンケートでは今年度に入っていじめを受けたと感じた児童が24名いた。学級担任が状況を確認したところ、全ての案件について解決しており、内容も深刻なものではなかったが、アンケートであがってきた事案については、二度と同じような問題が起きないように学級担任がきめ細かに児童の状況を把握し、いじめの再発を防ぐ努力をしている。</p> <p>○ 「人を思いやる心や態度」については、道徳の時間を中心に指導しているが、友だちに対する言葉づかいや行動などに課題が見られる。今後は道徳の時間だけでなく、すべての教育活動において、心の教育の充実に努めていく。</p>	3
		小	<p>a 学校のきまりや校則、社会的ルールやマナー、交通ルール等を守る指導をする。</p> <p>b 生活指導週間における廊下歩行に関する指導を徹底し、「廊下歩行のきまりを守っている」児童を90%以上にする。</p> <p>c 自転車通学に関するルールを遵守させる。</p>	<p>a 交通ルールはよく守られている。それ以外では、規範意識（運動場の使い方、休み時間の過ごし方等）が低い部分がある。</p> <p>b 70%はできているとしているが、徹底はしていない。</p> <p>c 違反は少なかったが、ゼロではなかった。</p>	<p>a 機会あるごとに指導していく。</p> <p>b ラインテープを教室の出入口と、廊下の曲がり角に付ける。廊下には、止まれの標識も付け、安全教育にも生かしたい。</p> <p>c 違反切符の活用も含め、機会あるごとに指導していく。</p>	2.84	2.67	2.79	<p>○ 小中共に、服装等の乱れは見られない。運動会でも、体育着をハーフパンツの中に入れて競技に一生懸命取り組む姿が見られた。授業中も学習の約束をよく守り、落ち着いた態度で授業に臨む姿が見られる。</p> <p>○ 雁亀橋の歩道を自転車で通れるようになったことを生徒は知っているのか。車道は自動車がスピードを出して通行するため、危険である。</p> <p>【学校側の回答】</p> <p>○ 児童生徒の服装等がきちんとしているのは、家庭や地域の協力によるところが大きい。廊下歩行や休み時間の過ごし方などの決まりは十分守れていないので生活指導週間等での指導を徹底したい。雁亀橋の歩道で自転車通行ができることは生徒には既に連絡済であるが、休日等に車道を通行することがないように今後も指導していく。</p>
中						2.73			